

2007年2月期
中間決算説明資料

2006年11月
株式会社ゼットン

上場のご挨拶

投資家の皆様へ

この度、当社は2006年10月19日に名古屋証券取引所セントレックス市場へ上場致しました。これも皆様の厚いご支援の賜物と感謝しております。

当社は1995年10月の創業より“店づくりは街づくり”というコンセプトのもと、『街の活性化』や『新しい文化の醸成』につながる飲食店舗の開発に取り組んでまいりました。おかげさまで、競争の激しい飲食業界で培ってきた当社のサービスクオリティが評価され、現在では、民間のみならず公共施設における飲食サービスも積極的に手掛け、皆様より高い評価を戴いております。

この度の上場を機会に、より一層の成長を図ってまいります。
今後のゼットンには是非ご期待下さい。

代表取締役社長 稲本健一



2007年2月期

I. 中間決算概要

2007年2月期中間期 サマリー

1

新規出店の状況

3店舗を新規出店、中間期末時点の店舗数は合計 25 店舗に。

2

既存店の状況

サービス改善と料理の質向上に注力。既存店売上高は前年同期比 114%。

3

業績の状況

当中間期の売上高は 1,721 百万円（2006年2月期通期は 2,947 百万円）^{※1}

パブリック事業^{※2}の売上構成比が、前期比 4.3% 増の 47.2% に上昇。

※1：2007年2月期中間期は中間財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

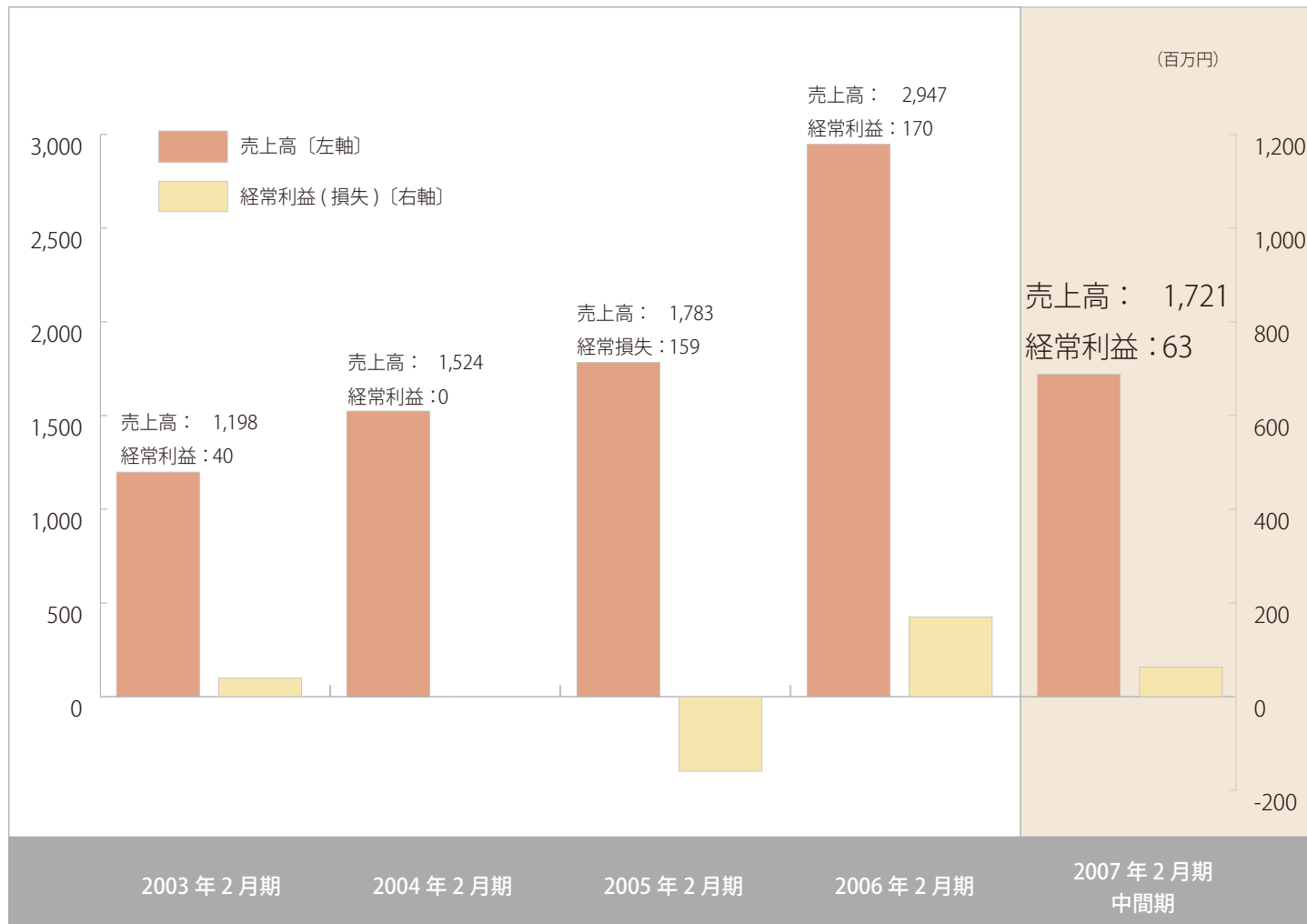
※2：本資料では事業名を略して記載しています。正式名称と事業概要は下記の通りです。

パブリック事業 = パブリックイノベーション&リノベーション事業（公共施設における飲食店舗の開発・再開発事業）

コマース事業 = コマースイノベーション&リノベーション事業（商業飲食店舗の開発・再開発事業）

売上高 / 経常利益の推移

売上高及び経常利益の推移



損益計算書概要

(単位：百万円)

	2007年2月期中間期	2006年2月期	主な変動要因・内訳
売上高	1,721	2,947	四半期別： 第1四半期 818百万円／第2四半期 902百万円 セグメント別： パブリック事業 812 百万円 コマーシャル事業 902 百万円
売上総利益	1,213	2,097	
売上総利益率	70.5%	71.2%	売上原価率の高いブライダルの上高構成比が、前期比6.4ポイント上昇したため。
営業利益	56	147	当中間期出店の3店舗及び9月出店の「GARLANDS」について、新規出店費用 55百万円を計上したため。
営業利益率	3.3%	5.0%	営業利益率の高いブライダルの売上が伸張した一方、新規出店費用が増加したため。
経常利益	63	170	四半期別： 第1四半期 42百万円／第2四半期 20百万円
経常利益率	3.6%	5.8%	
中間（当期）純利益	30	187	2006年2月期は、2005年2月期に計上した繰延税金資産に対する評価性引当額の調整に伴い、法人税等調整額△16百万円を計上したため当期純利益が増加。
中間（当期）純利益率	1.8%	6.4%	

※2007年2月期中間期は中間財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

貸借対照表概要

(単位：百万円)

	2007年2月期中間期末	2006年2月期末
【資産の部】		
流動資産	445	355
現金及び預金	239	263
① 売掛金	57	39
その他	149	52
貸倒引当金	△1	△0
固定資産	1,015	743
有形固定資産	813	561
② 建物	607	487
器具備品	79	64
建設仮勘定	116	1
その他	9	8
無形固定資産	14	0
投資その他の資産	187	181
資産合計	1,460	1,098

	2007年2月期中間期末	2006年2月期末
【負債の部】		
流動負債	753	546
③ 買掛金	202	166
④ 一年内返済予定長期借入金	222	178
その他	327	201
固定負債	349	321
④ 長期借入金	349	321
負債合計	1,102	867
【資本の部】		
資本金	—	154
資本剰余金	—	123
利益剰余金	—	△47
その他有価証券評価差額金	—	0
資本合計	—	231
負債及び資本合計	—	1,098
【純資産の部】		
株主資本	357	—
資本金	202	—
資本剰余金	124	—
利益剰余金	30	—
評価・換算差額等	0	—
その他有価証券評価差額金	0	—
純資産合計	358	—
負債及び純資産合計	1,460	—

※2007年2月期中間期は中間財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

- ① 店舗数増加による売上高の増加に伴い、売掛金 17 百万円増。
- ③ 店舗数増加に伴う取引額の増加に伴い、買掛金 36 百万円増。
- ④ 新規出店に伴う設備投資により、一年内返済予定長期借入金 が 44 百万円、長期借入金 が 28 百万円増加。

- ② 店舗新設により増加。
 THE TOWER RESTAURANT NAGOYA 125 百万円
 M&L Hawaiian Eats with Muu Muu COFFEE 2 百万円
 ALOHA TABLE Ocean Breeze Hawaiian Eats with Muu Muu COFFEE 19 百万円

キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)

	2007年2月期中間期	2006年2月期	主な変動要因・内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	335	収入：税引前中間純利益62百万円及び減価償却費41百万円の計上、未払金の増加104百万円 支出：未収入金の増加78百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329	△153	収入：保険積立金の解約による収入33百万円 支出：当中間期に新規出店した店舗のために取得した有形固定資産303百万円、並びに保証金の支払による支出31百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	168	△193	収入：長期借入金による収入250百万円及び株式の発行による収入96百万円 支出：長期借入金の返済177百万円
現金及び現金同等物の増減額	△24	△11	
現金及び現金同等物の期首残高	250	262	
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	226	250	

※2007年2月期中間期は中間財務諸表を初めて作成するため、前年同期との比較分析は行っていません。

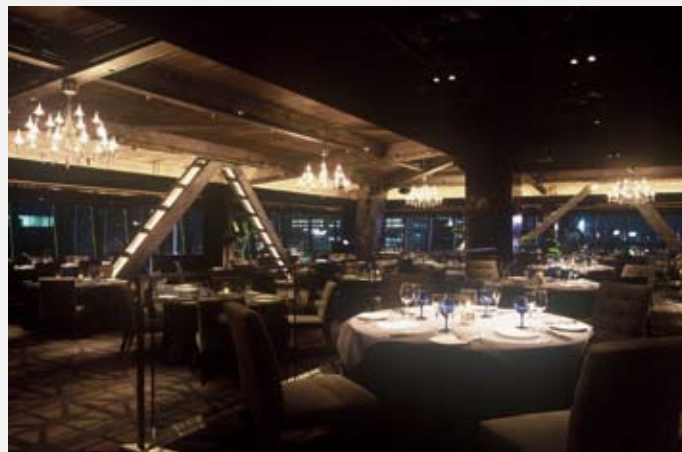
当中間期のトピックス 1

パブリック事業

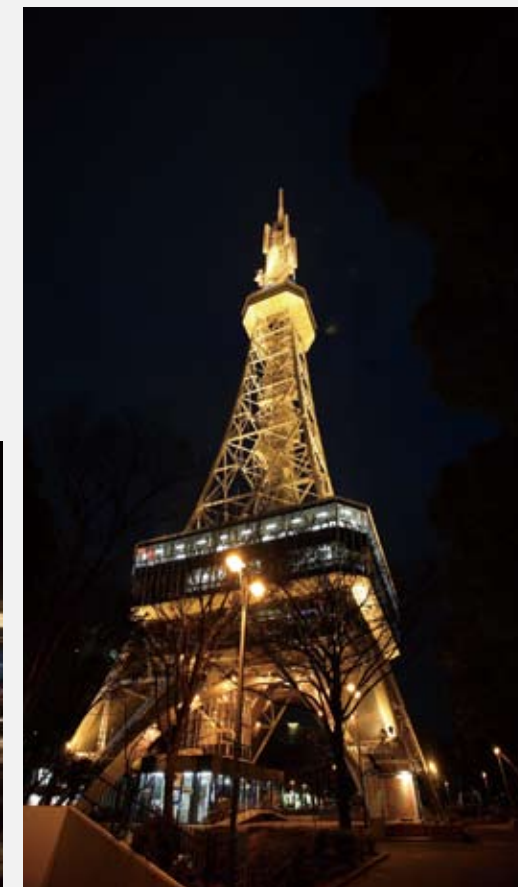
6月、「THE TOWER RESTAURANT NAGOYA」(名古屋市中区)を
オープン。 席数：176席 / 床面積：589平方メートル

建造から約50年が経過し、2011年にはアナログ放送終了とともに電波塔としての役目も
終える名古屋テレビ塔が新しく生まれ変わりました。レストラン、ラウンジ、そして展望階
にはウェディング施設を開発し、6月に全面リニューアルオープン。

名古屋のランドマークとしての存続意義と、久屋大通公園を中心とした街の活性化に大きく
貢献しています。



THE TOWER RESTAURANT
NAGOYA



当中間期のトピックス 2

コマーシャル事業

7月、「M&L Hawaiian Eats with Muu Muu COFFEE」（東京都目黒区）をオープン。

ハワイアン業態の関東一号店です。名古屋では、「ALOHA TABLE Muu Muu COFFEE & COCKTAILS」を2005年3月より営業しています。



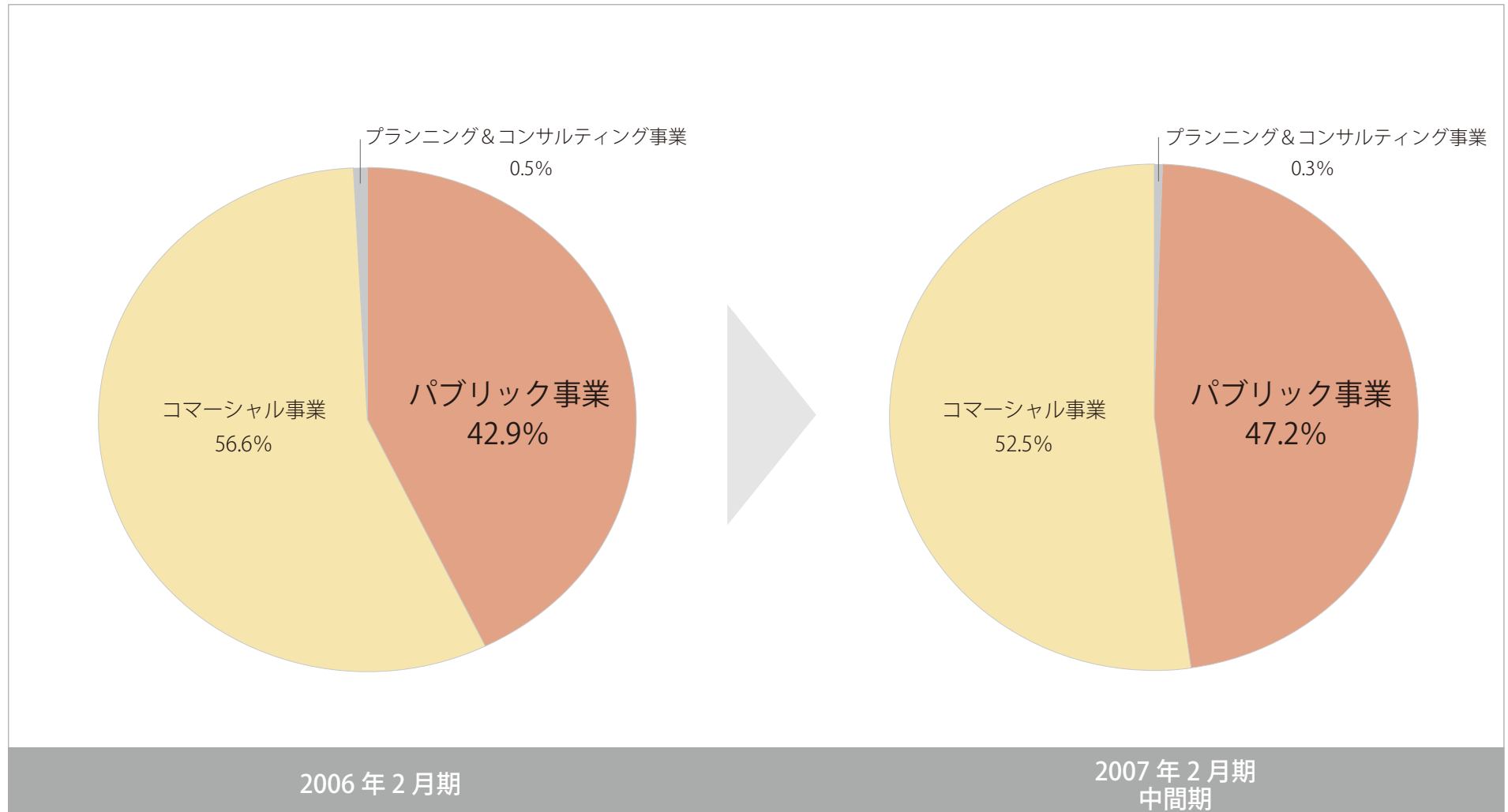
8月、「ALOHA TABLE Ocean Breeze Hawaiian Eats with Muu Muu COFFEE」をオープン。

横浜港やみなとみらい21地区をのぞむ「横浜ベイクォーター」（横浜駅東口）に、アロハテーブルを出店しました。



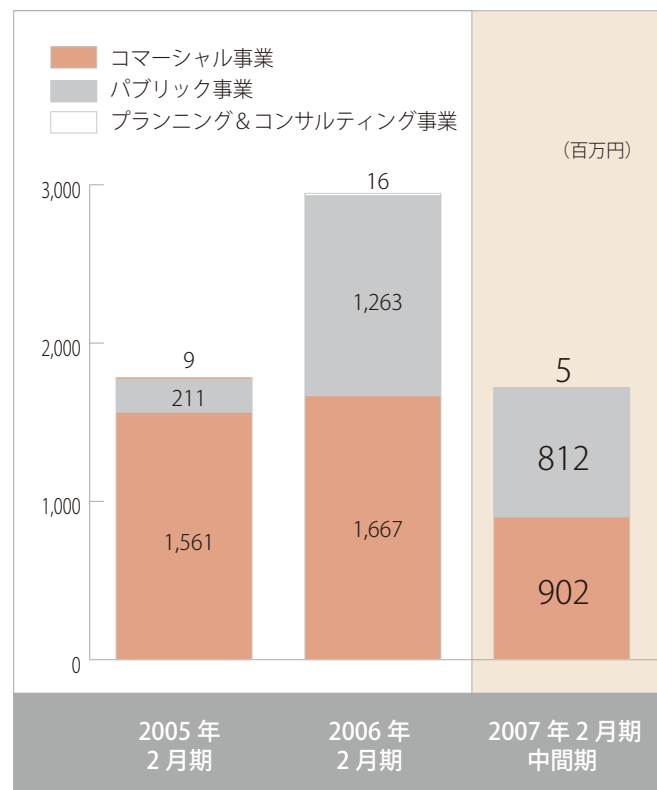
事業別売上高構成比

パブリック事業の売上高構成比が 47.2%に拡大



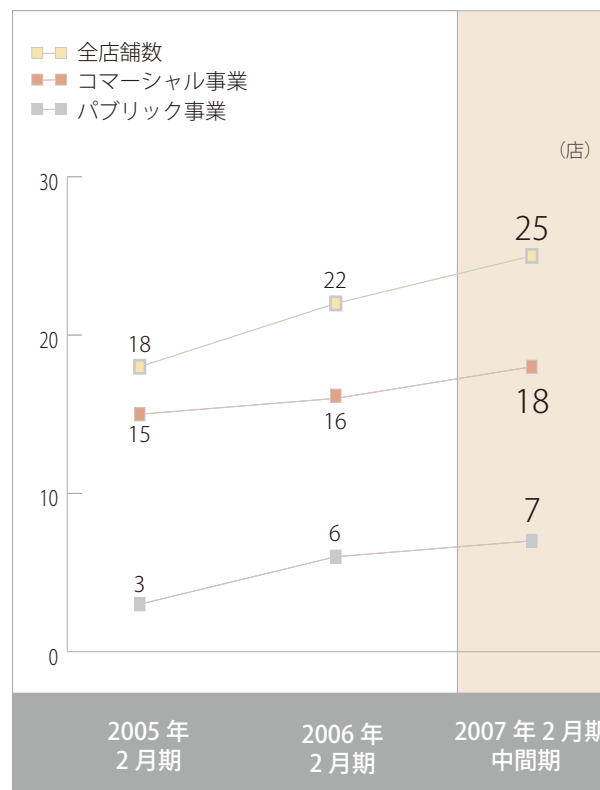
事業別：売上高 / 店舗数 / 既存店売上高前期比の推移

売上高の推移



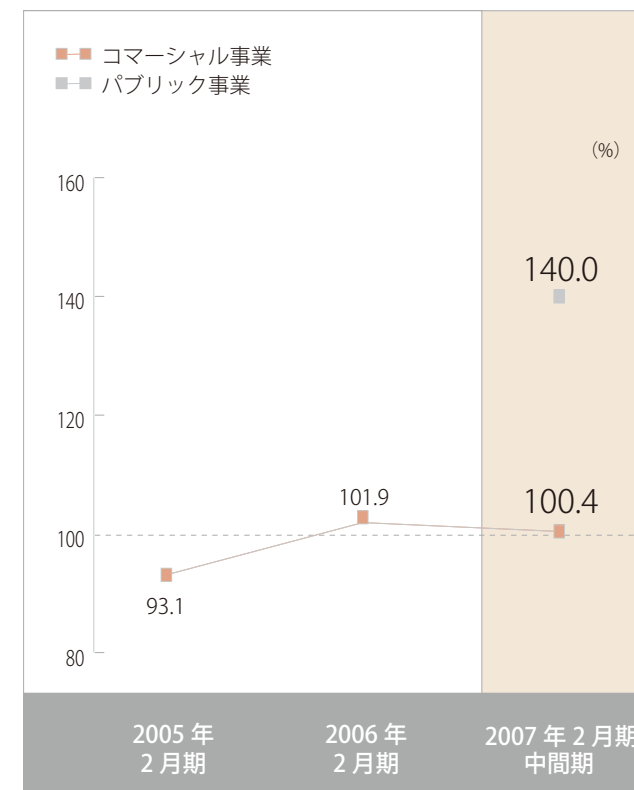
※パブリック事業は2004年5月より事業開始。

店舗数の推移



※パブリック事業は2004年5月より事業開始。

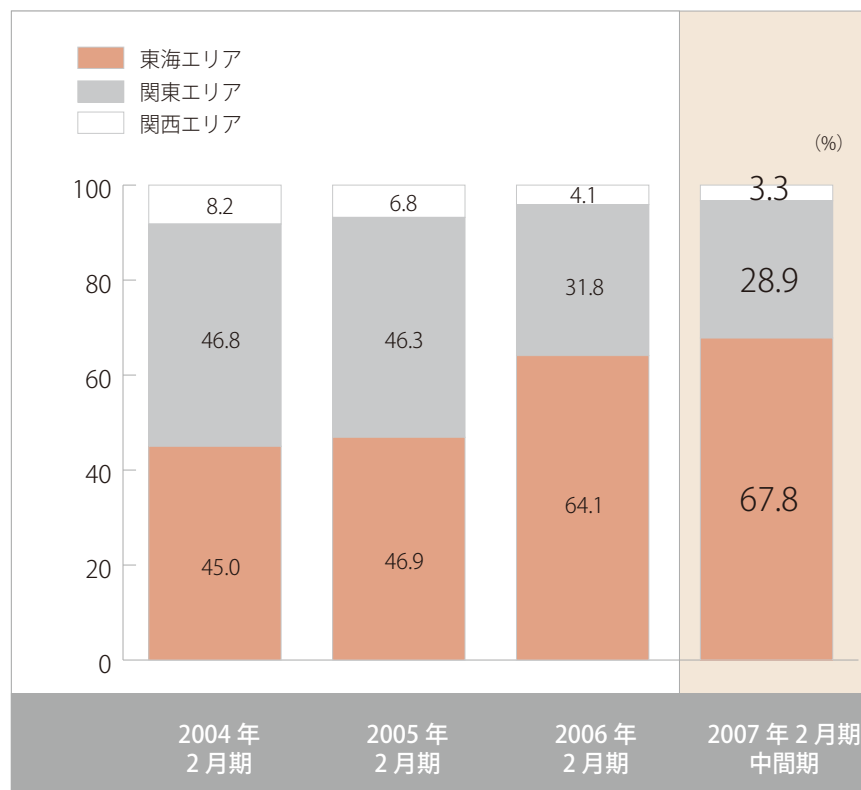
既存店売上高前期比の推移



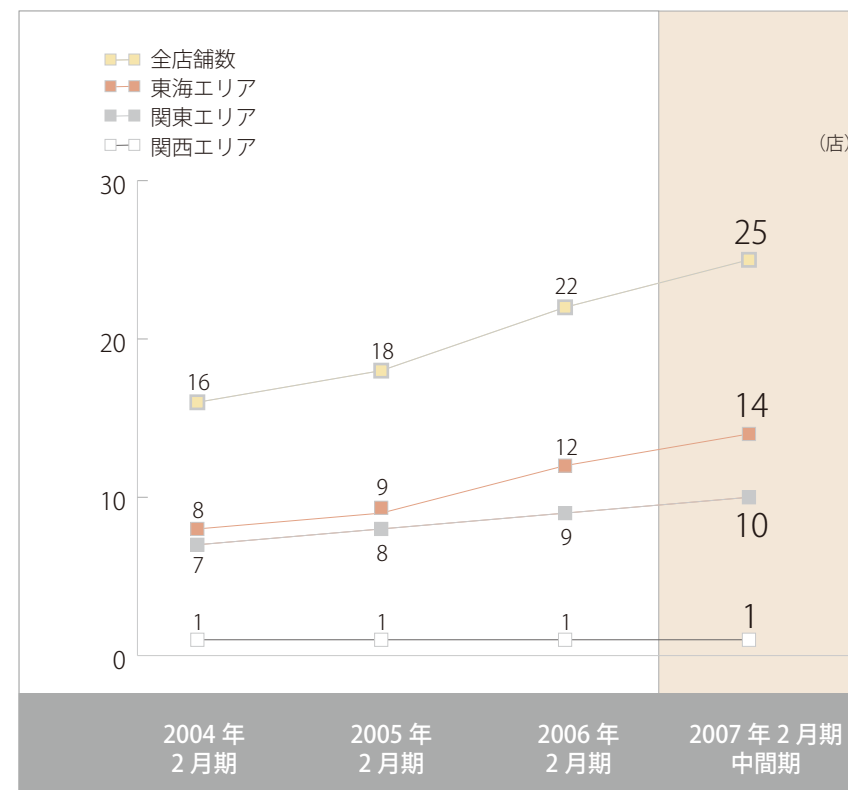
※既存店：開店から24ヶ月以上経過した店舗。
 ※2007年2月期中間期は、2006年2月期中間期との比較。
 ※パブリック事業は2004年5月より事業開始。

エリア別：売上高構成比 / 店舗数の推移

売上高構成比の推移



店舗数の推移



II. 下期の取り組みと 今後の成長戦略

下期の取り組み 1

パブリック事業

9月、「GARLANDS」(愛知県一宮市)をオープン。

国内有数の毛織物産業の町として有名な愛知県一宮市に、「GARLANDS」をオープンしました。地域住民の要望により残された広大な庭園を活かし、メインダイニングとサニーサイドテラス、森の景色と融合するガーデンホールを開発。ゆったりとした優雅な時間をご提供します。

GARLANDS GUEST HOUSE



下期の取り組み 2

コマーシャル事業

11月、「金山（クンサン）ソウル」（名古屋市中区）をオープン。

これまで運営していた「東京 渋谷 神南軒」をリニューアルし、「金山ソウル」としてオープンしました。テジプルコギ・サムギョプサル・韓国しゃぶしゃぶをはじめ、各種ジョンゴル・チゲ・チヂミ等の韓国料理をご提供します。



全社的な取り組み

飲酒運転防止への取り組みを強化

飲酒運転が社会的に大きな問題となっている中、ゼットンでは飲酒運転防止に向けて、全店舗の店内に飲酒運転禁止の表示を設置しました。

さらに、お車でご来店し飲酒されないお客様もお楽しみ頂けるように、新たな取り組みを開始しました。

1. ノンアルコールのカクテルメニュー

全店舗で、「ノンアルコール・ドライバーズ・カクテル」をご用意しました。



2. お車を一晩無料でお預かり

「GARLANDS」では、飲酒されたお客様に代行運転サービスやタクシーでのお帰りをご案内するほか、お車を一晩無料でお預かりするサービスを開始しました。

通期業績見通し

売上高	3,772 百万円	前期比 28.0%増
-----	-----------	------------

経常利益	205 百万円	前期比 20.6%増
------	---------	------------

当期純利益	121 百万円	
-------	---------	--

今後の成長戦略

今後、当社全体で毎年 5-6 店舗の出店を計画していますが、公共施設の活性化に対する国や地方自治体のニーズは引き続き高いと思われることから、経営資源をパブリック事業に集中させることにより成長を図っていきます。将来的な売上高構成比を、パブリック事業 7 割、コマース事業 3 割とすることを目指します。

